

世田谷区立山野小学校改築基本構想（案）について

（付議の要旨）

世田谷区立山野小学校の改築基本構想（案）がまとまったので、報告する。

1 基本構想（案）の概要

（1）基本方針

「めざせ！てっぺん」を実現する学習・交流空間づくり
豊かな学校生活を育む居心地よい空間づくり
「山野の山」のもと環境にやさしい学校づくり
「ふるさと山野」として親しまれる誇れる学校づくり
安全・安心の学校づくり

（2）計画条件

教室数の設定

30学級（平成32年度までの予測最大学級数で設定）

【参考】児童数：26学級 930名（平成26年4月現在）

基準延床面積の設定

9,618㎡（義務教育諸学校施設費国庫負担法施行令を基準とし、区が策定した標準設計指針・標準仕様書による）

$5,000 + 173 \times (30(\text{普通教室}) + 2(\text{ワークスペース}) + 2(\text{特別支援学級} - 18)) = 7,768 \dots$ 普通教室等、

$7,768 + 1,800(\text{体育館、新BOP、給食室}) + 50(\text{防災倉庫})$

$= 9,618$

【参考】既存校舎の延床面積：約7,628㎡

（3）計画の特色

配置計画

新校舎・体育館を敷地北側に集約し、南側に校庭を配置することにより、普通教室の良好な学習環境を整え、校庭も現状より広く整形に確保する。また周辺の環境を著しく変えないよう配慮する。

平面ゾーニング計画

普通教室ゾーンは1～4階とし、全教室を校庭側に配置し、自然採光と自然通風を確保する。特別教室ゾーンは1～4階の北側とする。特別支援教室ゾーンは図書室に隣接した2階北東側とする。職員・管理ゾーンは校庭から正門までの範囲を視認できる位置とする。給食ゾーンは1階北側とする。

動線計画

教室移動動線に配慮して、普通教室と特別教室はできるだけ同一階に配置する。体育館および多目的スペースは北西に配置し、地域住民も利用しやすい計画とする。給食等の搬出車両と児童の動線を明確に分離する。

外構計画

「山野の山」を活かし、緑に囲まれた潤いのある学校を計画する。既存の樹木をできるだけ残し、周辺からの景観に配慮する。

防災計画

地域の防災拠点として、必要な施設を設けると共に、校庭・体育館・防災倉庫等の位置に配慮する。

環境への配慮

屋上緑化、太陽光発電、雨水利用等を行い、エコスクールとして環境学習の場を計画する。

(4) 計画の概要

敷地概要

所在地 世田谷区砧6丁目7番1号
敷地面積 13,645㎡
(第一校地11,153㎡、第二校地2,492㎡)

建物概要

構造・階数 鉄筋コンクリート造、地上4階建
延床面積 9,500㎡程度

主要室構成

学校施設 普通教室(30)、ワークスペース(2)、特別支援教室(2)、特別教室(理科室、家庭科室、音楽室(2)、図工室、多目的室、図書室等)、多目的スペース、給食諸室、管理諸室、新BOP室等

地域連携施設 防災倉庫等

(5) 改築計画

今後、基本設計以降については、新たな学校施設整備基本方針及び標準設計指針・標準仕様書に基づき、改築計画を進める。

2 概算工事費(本体工事)

約31.0億円 (区単価及び「平成26年度用標準建物予算単価(H25.6東京都)」の変動率による現時点の概算額。)

3 工事工程

平成26年度	基本設計
平成27年度	実施設計、仮設校舎設計、仮設校舎建設
平成28・29年度	既存校舎解体工事(一部除く)、校舎改築工事
平成30年度	新校舎供用開始、既存校舎(一部)・仮設校舎解体工事、校庭整備工事

4 今後のスケジュール

平成26年6月10日	教育委員会報告
13日	文教常任委員会報告
6月下旬	住民説明会

5 敷地概要・配置計画図等

別紙のとおり